



男らしさとは？ 女らしさとは？

■ 着想の経緯

高校3年生のとき、医学部不正入試の問題を知り、同じ受験生として、ショックを受けた。社会で問題視されるさまざまな男女格差は、日常生活の中で積み重ねられてきたジェンダー・ステレオタイプが原因ではないだろうか。

宮城学院女子大学では、1年次に「女性と人権」という授業が必修科目である。この講義で「ジェンダー・ステレオタイプ」について学び、自分たち自身がステレオタイプを持っていることに気づかされた。

こうしたステレオタイプは日常に潜んでおり、気づかないことも多いが、自分たちが自分らしく生きていくのに、足枷になる可能性がある。そこで私たちは、日常生活に潜むジェンダー・ステレオタイプを調査することとした。

■ 研究の概要

以下の3つの切り口から、現代社会における「男らしさ」「女らしさ」について考える。

ジェンダー・ステレオタイプ



働く女性の靴

- ▶ 今年注目を集めた「#KuToo」運動に着目。
- ▶ **働く女性の靴**に、どれくらい**固定観念**があるかを調査。
- ▶ **実際の靴選択**の観察、**各職業にふさわしい靴イメージ**に関するアンケートを実施。

家事役割分担の変化

- ▶ 社会での女性の活躍が期待される中、「家庭での家事役割分担」に着目。
- ▶ **母・祖母世代**には家事分担の「**実態**」について、**娘世代**にはその「**理想**」についてのアンケートを実施。

「らしさ」の捉え方

- ▶ 男女青年を対象に、ジェンダーに関する特性語の認知を調査。
- ▶ これを、先行研究における1970年代・1990年代の結果と比較し、**男らしさ、女らしさの捉え方の時代変化**を検討。

1. ジェンダー・ステレオタイプ

◆ ジェンダー・ステレオタイプ

歴史的・文化的・社会的な男女の差異に関する固定的な見方。

◆ ジェンダー

歴史的・文化的・社会的に形成される男女の差異。また、その差異に対する知識。生物上の雌雄を示すセックスに対し。(大辞林第三版)

◆ ステレオタイプ

ものの見方・態度や文章などが型にはまって固定的であること。紋切り型。(大辞林第三版)

◆ ステレオタイプの功罪

○ **利点**: 「型」にあてはめて考えるのは、思考の節約になるので便利。
自分の振る舞い方のヒントになる!

× **欠点**: 情報を綿密に処理しなくなり、その対象をよく知らずに、間違った判断をする可能性

➡ 偏見や差別の背景に

◆ 社会問題との関連

✦ 企業のダイバーシティ推進や女性活躍推進を阻害する要因に、無意識の偏見を指摘する声がある

= **偏見が機会損失を引き起こす可能性**
(例) 1歳の子どもがいる社員に海外出張を打診しますか? ⇒ 社員が男性か女性かで答えは変わる! (文献②)

● クイズで体験! ~答えは?

坂道を荷車で重そうな荷物を運んでいる2人がいた。
前で引いている人に「後ろでおしている子どもはあなたの息子さんですか」と聞くと、「そうだ」という。
ところが、その子に「前にいるのはあなたのお父さんですか」と聞いたら、「ちがう」というのである。いったいどういうことなのか? (文献①)

◆ 関連用語

✦ **ジェンダー・アンコンシャス・バイアス**
(ジェンダーに関する**無意識**の偏見)

✦ 女性に対する2種類の偏見・差別

- **敵対的性差別**: 男性が女性に対して、能力の低い存在として差別したり攻撃するような態度
- **慈愛的性差別**: 男性が女性に対して、大切にしないではいけない存在として保護するような好意的な態度 (文献③)

成長機会、スキルを学ぶ能動性を失う

【文献】 ①市川真一(1997年)考えることの科学—推論の認知心理学への招待 中公新書 p.18より
②株式会社チェンジウェーブ(2019年)ダイバーシティ3.0時代 無意識バイアスへの対処が「個」を活かす (<https://changewave.co.jp/2019/02/05/lecture-diversity3-0/>)
③沼崎誠(2018年)第9章: ジェンダー 北村英哉・唐沢積(編著)偏見や差別はなぜ起こる?—心理メカニズムの解明と現象の分析 ちとせプレス pp.153-168

2. 女性の靴と「#KuToo」運動

「#KuToo」運動とは

- 女性が職場でヒールのある**パンプス**を履くように強いられることに異を唱えるもの
- セクハラを告発した「#MeToo」と、「**靴**」「**苦痛**」を合わせた造語
- Twitterで石川優実氏(署名発信者)が「なんで足怪我しながら仕事しなきゃいけないんだろう」と#KuTooで呟いたのがきっかけ
- この運動は好みは否定するものではなく、女性だけヒールを履くことを強いる職場があることに対する問題提起

朝日新聞2019年6月27日(朝刊)2面 東京本社より

署名は6月3日現在
1万9000通集まり、
厚生労働省 雇用環
境・均等局 雇用機会
均等課に提出された

石川氏のブログより(2019年6月6日)

◆パンプスとは？

- 婦人靴の一つ。
- 紐やファスナー、止め具などがなく、履き口の浅いもの。
- ふつう、中ヒールまたはハイヒール。

(精選版 日本国語大辞典)



全てパンプスです！

目的：場面と服装による靴の違い

職業場面(店員)	公的、他者を意識、立ち仕事
公共交通機関利用者	公的・私的(←服装の違いを参考)、歩く、立つ
待ち合わせの人	私的(>公的)、他者を意識

方法：観察法

	対象者	場所	分析人数(※)	観察日時	観察項目
①	店員	デパート・ショッピングセンター(仙台4店舗、秋田1店舗、福島1店舗)	男 29人 女 220人	平日 午前11時～午後16時までの間 8月下旬～9月上旬、11月上旬	・性別 ・年齢 ・靴の種類 ・靴底 ・服装 …など
②	公共交通機関利用者	JR仙台駅 地下鉄仙台駅	男 227人 女 375人	平日 午前11時～午後13時 8月下旬	
③	待ち合わせの人	仙台駅ステンドグラス前	男 107人 女 272人	平日・土曜 午前11時～午後16時までの間 8月中旬～9月上旬	

※大学生以上のみを分析(高校生以下の①1人、②74人、③16人は含まない)

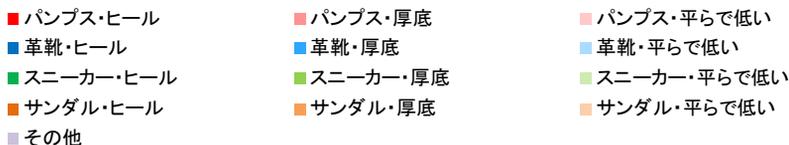
(注) 観察項目の「靴の種類」で、あらかじめ「パンプス」というカテゴリを設定していなかったために、一部観察者は、「パンプス」を「革靴」としてカウントした。

「服装」の「制服」というカテゴリも同様に、分類基準にばらつきが生じた。

2. 女性の靴と「#KuToo」運動

結果

①デパート・ショッピングセンター(店員)



スーツの場合、男性は革靴、女性はパンプスと革靴の割合が多い

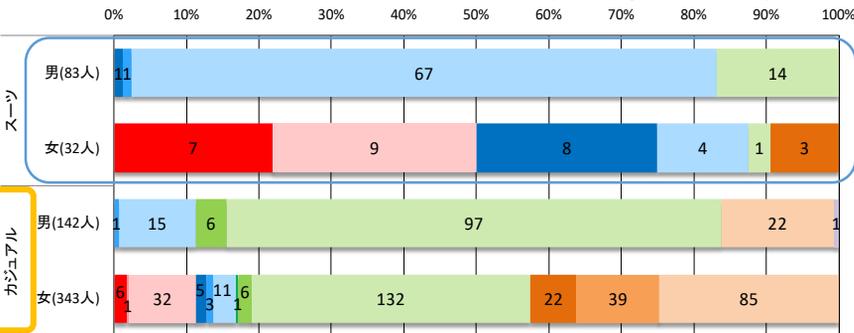
カジュアルな服装の場合は、靴の種類や靴の高さが多様になる

店員は制服・カジュアルな服の場合、スーツに比べてスニーカーを履いている人の割合が多かった(30%)
 ⇒ 店員でも服装がカジュアル(制服がカジュアルな場合を含む)であれば、履きやすい靴が選択されることがある。



②JR仙台駅・地下鉄仙台駅

※制服は男性2人であった



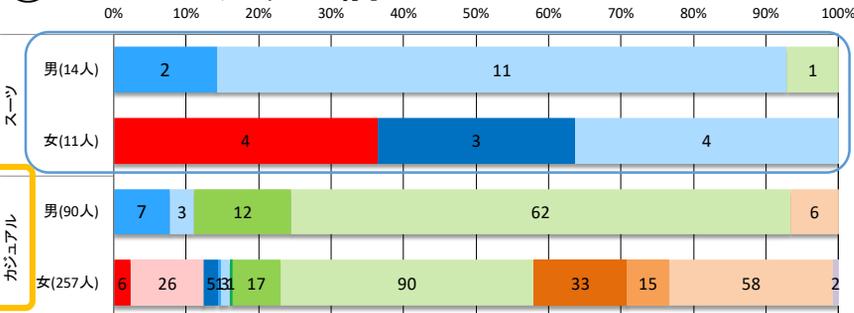
● 靴の選択は、服装とのバランス(見栄え)が重視されている？

● グラフ①より、パンプスを履く女性店員の割合は多くはない。

⇒ 仕事の靴に苦痛を感じる女性ばかりとはいえない。「#KuToo」運動に温度差？

③ステンドグラス前

※制服は男性3人、女性2人であった



● 次に、接客される立場から、仕事にふさわしい靴について調査した。

【課題点】通勤時間をさけて観察したが、働く人の観察を幅広くするためには、時間帯、場所の設定を工夫する必要がある。

2. 女性の靴と「#KuToo」運動

目的

- 働く女性の靴にどれくらい固定観念があるかを調べる。
 - 女性の仕事上の靴は、職業によってふさわしいと思われるものが違う？
 - それは、回答者の性別によっても違う？

方法

- アンケート調査：紙筆版を作成
 - 各種職業にふさわしい靴選択
 - #KuToo運動の認知度、賛否
- 実施時期：2019年10月末～11月上旬
- 対象者：社会人男性(平均44.1歳) 女性(平均39.8歳)

企業の靴の規定

朝日新聞が、企業20社に靴の規定の有無などを取材
 →半数以上に何らかの規定あり

接客にあたる女性従業員の靴の規定

ホテル	帝国ホテル	◎
	ヒルトン東京	◎
	ホテルオークラ東京	○
金融機関	みずほFG	×
	三菱UFJFG	△
保険会社	第一生命	◎
	明治安田生命	×
	日本生命	×
	住友生命	×
航空会社	全日空	◎
	日本航空	◎
デパート	高島屋	◎
	Jフロントリテイリング	○
	三越伊勢丹HD	×

企業トップの声

◎靴の規定がある
 ○黒パンプス指定だが、ヒールの高さは指定なし
 △個人の裁量だが、接客時のスニーカーは不可
 ×靴の規定がない
 朝日新聞2019年6月15日(朝刊)35面・東京本社より

社内からハイヒールがきついという声は出ていない
 靴だけに限らず社会全体として多様性をどう進めるかという問題
 働きやすい格好で、あくまで個人の判断で考えるべきだ

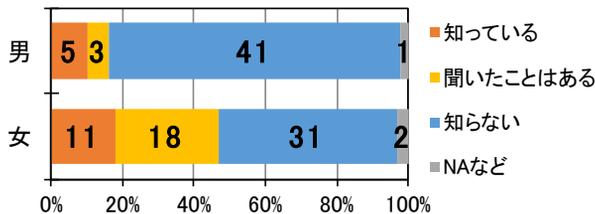
朝日新聞2019年7月24日(朝刊)7面 東京本社より

	年齢群				合計
	18～29歳	30～49歳	50歳以上	無回答	
男	11	20	18	1	50
女	16	24	20	2	62
合計	27	44	38	3	112

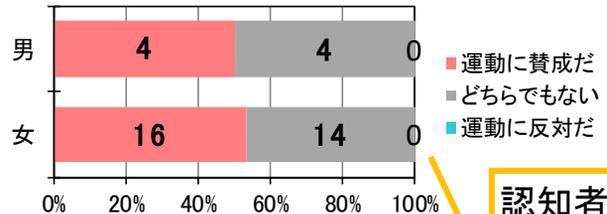


結果①: #KuToo運動の認知度と賛否

認知度



認知者の賛否



「知っている」「聞いたことはある」と答えたのは、女性が約半数、男性は20%弱にとどまった。

→ 女性の働きやすさを求める活動であるが、女性でさえ既知者が半数にとどまる結果は必ずしも運動が浸透しているとはいえない。

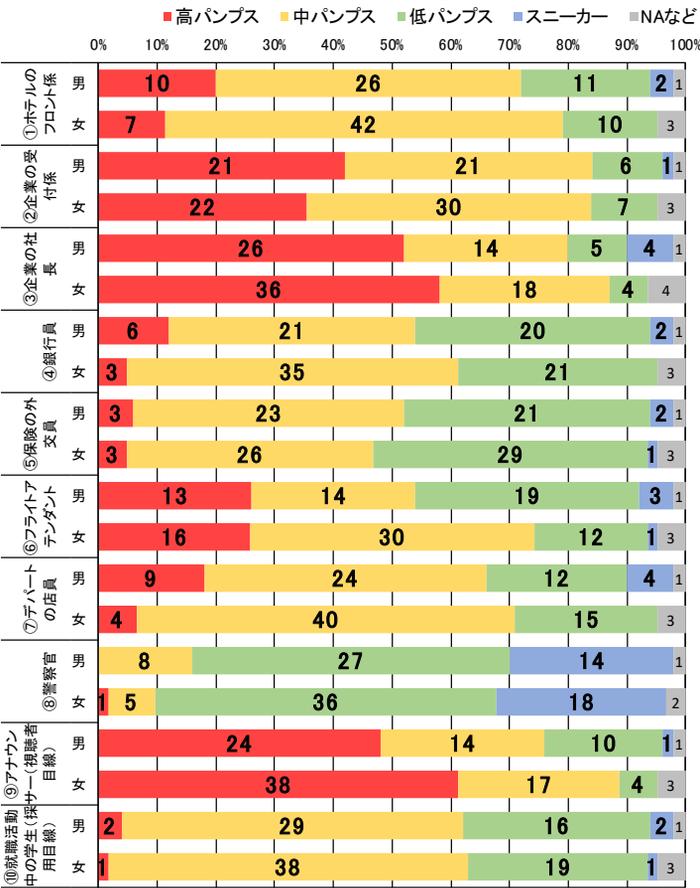
認知者に、反対者はいないが、賛成なのは約半数

2. 女性の靴と「#KuToo」運動

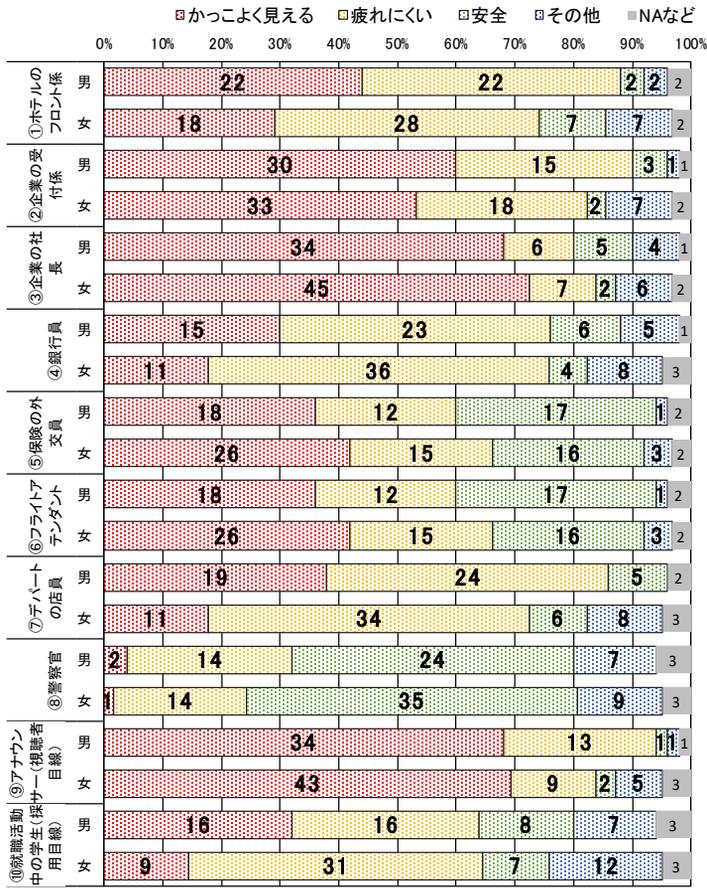
結果②：女性の職業別、ふさわしい靴と理由

● ふさわしい靴

お客などとして対応される立場から選択



● 選択の理由 (靴の種類問わず集計)



1. 全体的な傾向としては、中パンプスを選ぶ人が多かった。
2. 男女で選択に大きな差はないが...
3. 職業別の特徴として...

- ① 社長、アナウンサーでは、5割以上が高パンプス(ハイヒール)を選択した(理由:かっこよく見えるが9.5割)。
- ② 警察官に対しては、低パンプス(理由:安全が6割)とスニーカー(理由:安全が4割、動きやすいが4割弱)が多かった。
- ③ 金融・保険業は中パンプスの他に、低パンプスも許容される。
- ④ 就職活動中の学生に対しては「パンプスがふさわしい」がほとんど。実際には中パンプスが一般的だが、低パンプスも一定程度許容された。

➤ 社長、アナウンサーに対して、女性の方がハイヒールを選択
 ➤ フライトアテンダントに対して、男性の方がフラットシューズ(低パンプス)を許容。
 ⇒ 女性の目線の方が厳しい?

➡ お客などとして対応される立場からは、履きやすさよりも、見た目の印象が重要視され一定以上の高さのヒールが良いという固定観念が、一部の職業に対しては、強く表れているといえる。

3. 家事分担意識の世代間比較

目的

- 家庭内の役割分担の**時代変化**について、**娘**(女子大学生)の**理想**とその**母・祖母世代の実態**を比較する。
- 母の実態と娘の理想に**関連**があるのか検討する。

方法

- 女子大学生とその母、および、祖母世代を対象にアンケートを実施

	娘世代	母世代	祖母世代
●対象者	本学学生	その母親	その祖母、一般
年齢	18~22歳	40・50歳代	70・80歳代
人数	83人	55人	42人
●調査内容	子育て期間中(子どもの小学校卒業までの)、 ①就業、②育休取得、 ③家事分担、④その決め方について		
	理想	実態	実態
●実施時期	2019年10月下旬~11月上旬		

アンケート用紙見本(娘用)

回答番号 _____

家庭内役割分担に関するアンケート【女子学生用】

富山学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科 1年次・木野ゼミ

将来、家庭を持ったときの家庭内での家事・育児役割分担の理想について調べています。回答していただいた内容は、研究以外の目的で使用いたしません。ご協力をお願いします。

1. 子育て期間中(〜子どもが小学校を卒業するまで)の家事・育児に関する理想

(1) あなたは、この時期に家庭内でどのような立場を希望しますか？(当てはまるもの一つだけ)
○)

専業主婦 ・ 共働き ・ 主たる生計者(夫は専業主夫 など)

その他()

(2) 育児休業の取り方の理想はどうですか？(当てはまるもの一つだけ)○)

夫婦両方が取る ・ 自分だけ取る ・ 夫だけ取る ・ 夫婦両方取らない

その他()

(3) この時期の家事・育児の役割分担の理想はどうですか？(それぞれ当てはまるもの一つだけ)○)

①料理	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫
②洗濯	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫
③掃除	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫
④ごみ出し	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫
⑤子どもの送迎	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫
⑥おむつ交換	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫
⑦家族で出かける際の運転	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫	妻 どちらかといえば妻 半々 どちらかといえば夫 夫

(4) この時期の家事や育児の分担はどのように決めたいですか？(当てはまるもの一つだけ)○)

話し合いで決める ・ わざわざ話し合いで決めなくてもよい

その他()

2. あなたの現在の年齢を教えてください： () 歳

◆ 育児休業とは

- 1991年: 育児・介護休業法制定
- 2017年: 育児・介護休業法改正
→休業期間が2歳まで延長

<現在の主な取得条件>

- ✓ 妻が専業主婦の場合でも、夫は育児休業を取ることが可能
- ✓ 一定の条件を満たせば育児休業給付金が支給される
 - ①雇用保険に加入していること
 - ②その会社で1年以上雇用されているなど

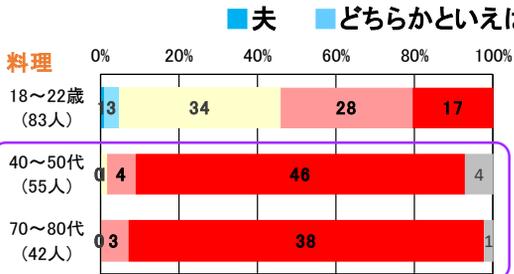
◆ 性役割分業について 日本では....

- 1954~1973年: 高度経済成長期
→「夫は仕事、妻は家庭」という家族モデルが大衆化
- 1990年代に共働き世帯が増え始めた
→なぜ？
 - ①バブル崩壊後の不景気で、夫の収入だけで生活するのが厳しくなった
 - ②1985年: 男女雇用機会均等法制定を機に女性が働きやすい社会になった
- 共働きでも、妻が約9割、夫が1割の家事負担
- 専業主婦は希少になりつつあるが、働く女性の6割は非正規雇用である

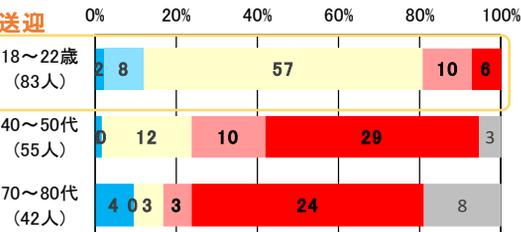
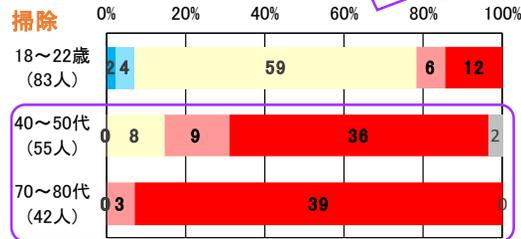
3. 家事分担意識の世代間比較

結果：三世代で見る家事・育児分担変化

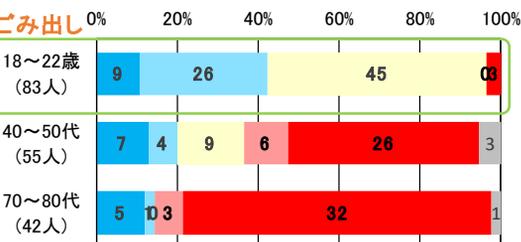
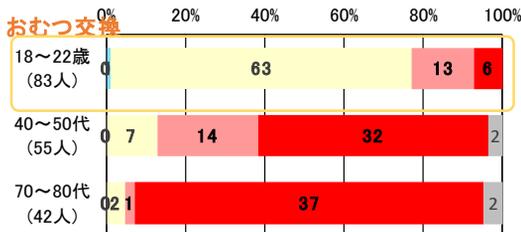
「洗濯」の結果はほぼ同様



【料理・掃除・洗濯】
母・祖母世代では「夫より」の分担が全くなかった。娘世代の理想で、半々が増加。



【送迎・おむつ交換】
母・祖母世代では夫の負担が少ない。娘世代では、約8割が「夫が半分以上を分担」の理想。



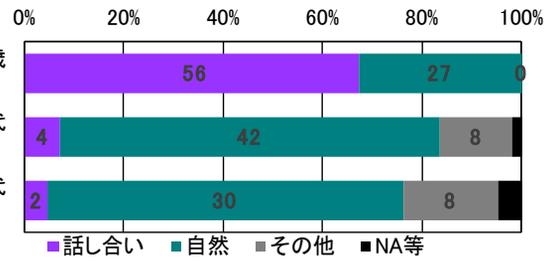
【ごみ出し】
世代とともに夫の分担増加。娘世代では、約9割が「夫が半分以上を分担」の理想。



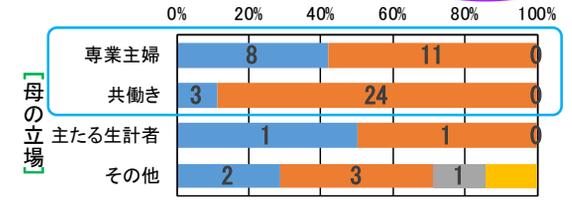
【運転】
世代を問わず、「夫」の分担という回答が大半。

◆ 役割分担の決め方

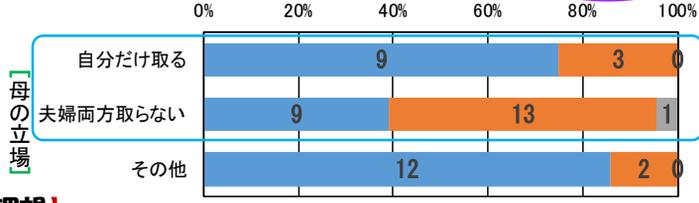
- 母、祖母世代の実態：
10%未満が「話し合いで決めていた」、76%が「気がついたら決まっていた」と回答
- 女子大学生の理想：
70%が「話し合いで決めたい」と回答



◆ 就業 (母娘の関連)



◆ 育休取得 (母娘の関連)



共働きについては、[母は5割]だったが、[娘の理想は7割]に増加。ただし、[専業主婦]の場合には、[専業主婦]理想の比率が高い。
⇒ 自分の母と同じ立場を理想とする傾向。

[妻だけ]取得したら[夫婦両方]、[夫婦どちらも取得なし]なら[自分だけ]に。
⇒ 娘世代の理想は、積極的に取得する方向へ。ただし、母親の実態により差がある。

* 【娘の理想】 【母の実際】
■ 専業主婦(14人) ■ 共働き(39人) ■ 主たる生計者(1人) ■ その他(1人) ■ 夫婦両方が取る(30人) ■ 自分だけ取る(18人) ■ 夫だけが取る(1人)

4. ジェンダー特性語の捉え方

目的

- **ジェンダーに関連する特性語が、男女青年に、どのように認知されているのかを調べる。**
 - ジェンダー・ステレオタイプの**男女差**の検討。
 - 先行研究(湯川ら, 2008)における**1970年代、1990年代の結果と比較し、とらえ方の時代変化**を検討。

※1970年代は男性的/女性的の区別が明瞭だったが、1990年代には平等主義的な方向に変化しつつあった。
⇒ 2019年はさらに!?

方法

- **アンケート調査**：紙筆版とWEB版の2種類作成(内容は同一)
- **内容**：湯川ら(2008)と同様
※ ただし、一部単語には参考に、単語の意味を加筆
- **実施時期**：
2019年10月中旬～11月上旬
- **対象者**：大学生(平均19.5歳)

	共学		女子大	合計
	男	女		
紙筆版	34	88	103	225
WEB版	65	51	19	135
合計	99	139	122	360

- **分析**：湯川ら(2008)と同様
(例)「**男性によりあてはまる**」に分類した人が、それ以外に分類した人より有意に多い ⇒ 「**典型男性性語(M)**」

湯川ら(2008)による研究

- 1970年代と1990年代で、単語分類課題の結果を比較
⇒ ジェンダー・ステレオタイプの時代変化を検討
- **単語分類課題**：ジェンダーに関連する性格特性語(50個)を「**男性 / 女性 / 男女ともにあてはまる**」「**男女ともにあてはまらない**」に分類
- **調査対象**：4年制国公立大学の学生。内訳は以下のとおり。

	1970年代	1990年代
対象者数	1060名 (男569・女491)	916名 (男456・女460)
実施時期	1975年4月～ 1978年9月	1991年4月～ 1996年1月

単語の認識に関するアンケート

私たちは、ゼミ活動の一環で、大学生の単語認識について調べています。これに関する以下のアンケートにご協力をお願いします。

アンケートは無記名で、データは集団としての回答傾向を集計しますので、個人が特定されることはありません。考えすぎず、思ったままにお答えください。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科 1年次・木野ゼミ

- 問1. あなた自身について教えてください。
- (1) 年齢 ()歳
 - (2) 性別 (男 ・ 女)
 - (3) 大学 (共学 ・ 女子大学)

- 問2. 以下の各形容詞について、
- 「1 = 男性によりあてはまる」
 「2 = 女性によりあてはまる」
 「3 = 男女ともにあてはまる」
 「4 = 男女ともにあてはまらない」

のいずれかに分類し、もっとも当てはまると思う数字に○印をつけてください。

	男性によりあてはまる	女性によりあてはまる	男女ともにあてはまる	男女ともにあてはまらない
(1) 活発な	1	2	3	4
(2) 自信のある	1	2	3	4
(3) つよい	1	2	3	4
(4) かわい	1	2	3	4
(5) 冷たい	1	2	3	4
(6) 謙遜な (自分の能力・価値などを低く評価すること。控えめに振る舞うこと。)	1	2	3	4
(7) 頭のよい	1	2	3	4
(8) やわい	1	2	3	4

4. ジェンダー特性語の捉え方

結果

	1970年代		1990年代		2019年		
	男子大学生	女子大学生	男子大学生	女子大学生	共学の男子大学生	共学大学の女子大学生	宮城学院女子大学の大学生
典型男性性語 (M)	2 自信のある 3 つよい 9 線の太い 15 政治に関心のある 20 視野の広い 23 経済力のある 25 意志強固な 27 指導力のある 30 仕事に専心的な 42 つき合いのよい 47 独創的な	3 つよい 15 政治に関心のある 20 視野の広い 23 経済力のある 25 意志強固な 27 指導力のある 30 仕事に専心的な	3 つよい 23 経済力のある 27 指導力のある 34 無頓着な 50 粗略な	3 つよい 9 線の太い 23 経済力のある 27 指導力のある		23 経済力のある	3 つよい 23 経済力のある
典型女性性語 (F)	4 かわいい 8 よわい 12 従順な 13 依存的な 16 美しい 21 気持ちのこまやかな 29 こまかい 32 感情的な 36 おしゃれな 39 家庭的な 40 でしゃばりの	4 かわいい 8 よわい 12 従順な 13 依存的な 16 美しい 21 気持ちのこまやかな 26 行儀のよい 29 こまかい 32 感情的な 40 でしゃばりの	4 かわいい 16 美しい 21 気持ちのこまやかな 39 家庭的な	4 かわいい 12 従順な 13 依存的な 16 美しい 21 気持ちのこまやかな 32 感情的な 40 でしゃばりの	4 かわいい 16 美しい	4 かわいい 21 気持ちのこまやかな 39 家庭的な	4 かわいい 16 美しい 39 家庭的な
典型男女両性性語 (MF)	7 頭のよい 35 明るい	7 頭のよい 10 積極的な	7 頭のよい 10 積極的な 35 明るい	7 頭のよい 10 積極的な 14 外交的な 35 明るい 36 おしゃれな 45 勝手な	1 活発な 7 頭のよい 10 積極的な 20 視野の広い 35 明るい 42 つき合いのよい 43 理想をもった 44 のんびりした	1 活発な 2 自信のある 5 冷たい 7 頭のよい 10 積極的な 14 外交的な 18 忍耐強い 20 視野の広い 24 学歴のある 25 意志強固な 27 指導力のある 30 仕事に専心的な 35 明るい 36 おしゃれな 37 質素な 41 静かな 42 つき合いのよい 43 理想を持った 44 のんびりした 45 勝手な 46 現実的な 47 独創的な 49 話上手な	1 活発な 2 自信のある 5 冷たい 7 頭のよい 10 積極的な 14 外交的な 18 忍耐強い 20 視野の広い 24 学歴のある 25 意志強固な 27 指導力のある 30 仕事に専心的な 35 明るい 36 おしゃれな 37 質素な 41 静かな 42 つき合いのよい 43 理想を持った 44 のんびりした 46 現実的な 47 独創的な 49 話上手な

11語⇒5語⇒2語と減少

現代は、女性だけが、**経済力がある**を男性的と捉えている

11語⇒7語⇒3語と減少

1970年代から語数が10倍増加

- 変化のないものは？
約40年間変わらず・・・
- 典型男性性=つよい、経済力のある
 - 典型女性性=かわいい、美しい
 - 典型両性性=頭のよい

◆その他： 気になる単語 (2019年の回答より)

回答選択率 (%)	共学男子				共学女子				宮学			
	あてはまる	あてはまらない										
6 謙遜な	13.1	22.2	58.6	6.1	1.4	39.6	53.2	5.8	1.6	36.1	54.9	7.4
20 視野の広い	18.2	11.1	63.6	7.1	5.0	20.1	67.6	7.2	3.3	22.1	68.9	5.7
44 のんびりした	17.2	7.1	70.7	5.1	6.5	20.1	67.6	5.8	4.9	21.3	69.7	4.1
39 家庭的な	1.0	58.6	31.3	9.1	1.4	74.8	22.3	1.4	0.8	68.9	29.5	0.8

男女ともに、**自分のカテゴリだ**と**思いたい**

「女性によりあてはまる」の回答率が高いが、**「男女ともにあてはまる」と考えている人の割合も3割程度と大きい**

※表未記載の調査単語

11 理性的な 17 きちんとした 19 激しい 22 大胆な 28 複雑な 31 くだい 33 敏感な 48 神経の細かい

働く女性の靴

- ✧ 職場での服装の規定がなければ、男女問わず負担がかかりにくい靴を選択してもよいはずだが、スーツの時はパンプス、革靴というスタイルが定着している。
- ✧ お客の立場からのアンケートでは、職業によってふさわしい靴に違いがあった。また、女性の目線のほうが厳しかった。

家事役割分担の変化

- ✧ 母親世代以前は、子育て期の家庭内役割が夫婦で平等とは言えないのが現状であった。
- ✧ 娘世代の理想は、男女平等志向ではあるが、内容によって異なる。
- ✧ 社会制度は整っても、得意・不得意、観察学習(親の影響)、諦めなどのためか、現代の女子大学生においても、全くの平等を理想としているわけではない。

✧ #KuToo運動の既知者は少ないことから、靴のことを問題視している人がそもそも少ないのではないか。

✧ まずはわたしたち女性自身が固定観念に縛られすぎないことが、苦痛を訴える女性を減少させることにつながるのではないだろうか。



「らしさ」の捉え方

- ✧ 以前は、性格特性語を「男らしさ」「女らしさ」で区別する傾向が強かったが、年代を重ねるにしたがって、性格特性語を男女の「型」にあてはめる傾向が小さくなってきているといえる。
- ✧ 私たちは男女というカテゴリにとらわれず、他者を認知できるようになってきているのかもしれない。



■謝辞■ アンケートにご協力くださった皆さま、授業時間を提供いただいた皆さま、アンケート依頼の仲介をしてくださった皆さまに心より御礼申し上げます。

■報告者■ 2019年度心理行動科学科1年次生(心理学実践セミナー木野班)
安津畑奈々、遠藤菜央、大場日菜子、鎌田祐衣、工藤芽生、熊谷まなみ、熊谷未悠、西城沙希、齋藤千尋、佐川結香、佐々木 麗葉、佐藤歩美、佐藤優羽、三瓶華歌、柴山涼香、白戸夏葵、菅原ちひろ、高橋柚羽、高橋蘭、高橋里奈、丹野真奈実、千葉瞳子、星愛美、三坂笑実里(50音順)